

施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 7月 22日
2次評価日（部長等）	2年 7月 22日

1 施策の概要

施策名	計画的土地利用の推進	コード	13-1
この施策の主な内容	都市機能の集積、諏訪湖辺面の利活用、公園等の整備・管理、岡谷駅周辺整備		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	持続可能なまちを実現するため、低未利用地、駅周辺地域の有効活用、公共施設の効率化を図ります。公園は機能、目的に沿った整備を推進。また、交通の円滑化、良好な街並みの形成に努めます。		
担当部課	部 建設水道部	課等 都市計画課	作成者 小口 智行

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

* 第5次総合計画における目標指標の達成状況(前期基本計画:元年度~5年度)

施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度			2年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 計画的土地利用に関する市民の満足度	%	14.9	12.5	12.8	-	-	13.0	13.8
指標説明	岡谷市民アンケート調査による、計画的土地利用に関する市民の満足度							
② 計画的土地利用に関する市民の不満足度	%	17.4	20.3	20.0	-	-	19.8	19.0
指標説明	岡谷市民アンケート調査による、計画的土地利用に関する市民の不満足度							
③						-		
指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	315,492	150,911	144,756	176,394
人件費	46,800	47,600	22,000	22,000
合計コスト	362,292	198,511	166,756	198,394

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

本市は、行政面積の内、宅地等として利用可能な土地が限られている。人口減少が進む中、コンパクトシティ構想が国の施策として打ち出されているが、既にまとまった土地利用を行っている地域である。

立地適正化計画の誘導区域について都市計画審議会で意見聴取・市民へのパブリックコメントを行った。

市所有の未利用地の売却を行った。

平成28年度までに実施した、ラオカヤ再整備の可能性についての調査結果に基づき検討を行ない、市街地再開発手法での実施は困難であると判断した。

湖畔若宮地区は、地区計画のモデル地区として面的整備の重要性、必要性を地域住民に対し継続的に発信した。

来園者が、安全、快適に利用できるよう、市内19都市公園のうち、鳥居平やまびこ公園ほか2公園を指定管理者が、残りの16公園を市と地域が連携しながら適正な管理を実施した。

また、鳥居平やまびこ公園を中心に、来園者のニーズに対応したイベント等を実施し、公園の活性化を図った。

街路樹やポケットパーク等の剪定や消毒など維持管理は、経費節減を図りながら適正に実施された。

街角緑化や民有地等の緑化を実施することで、街中の緑化を推進することができ、景観の向上が図れた。

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	<p>可住地面積が狭く、投資効果・投資効率が高い 中心市街地の都市基盤整備が進んでいる。 鉄道高架事業が完了している。 公園管理に対する地域の参加、協力意識が高まっている。 街路樹の除草など個人や地域で取り組むなど、緑化に関心のある市民は多い。</p>
岡谷市の弱み	<p>市街地全域の空洞化（人口減少、高齢化、空き地・空き家・空き店舗の増加）の進行 空き家、空き店舗の増加、周辺市街地の無秩序な宅地化 市の財政見通しは、市税や地方交付税等の増収が厳しい状況が続いており、公園整備等の投資的 事業等を推進させることは困難である。 まちづくりや除草ボランティア等への市民参加は多いが、市民全体としての緑化意識の熟度と しては、十分とは言えない。</p>

5 今後の外部環境の変化

* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	<p>人口急減、超高齢化社会、エネルギー問題等の社会情勢の変化に対応する、継続的な社会創生のための政策、制度が期待される。 国が公園施設の安全、安心対策の維持管理を財政支援も含めて進めている。 諏訪湖周連携の気運が高まり、未整備地区の解消が求められている。 一部地域や商業会で、自主的な街路樹管理が行われ始めた。</p>
不利に働くもの	<p>国及び地方の財政状況が悪化し事業費の確保が困難になり、災害対策、防災・減災への対応、既存ストックの維持・改修費等も増加している。 景気回復は低調であり、財政事情が厳しい。 特定財源が限られていることから維持管理費に制約がある。 高齢化により事業への参加者が減少する。</p>

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	<p>拡大型の都市計画からコンパクトな都市計画への変化の対応として市民協働のまちづくりを実践できる取り組みを優先する。 岡谷市の現状を市民が理解できるよう情報提供を行い、今後のまちづくりで何を行うのか、市民がまちづくりに参加できる環境を創出する。 岡谷駅周辺については、これまでの計画に縛られることなく多角的な視野で、今後の整備方針を見直しを図っていく。 都市整備事業においては、東町線他都市計画街路事業や湖畔若宮地区計画事業の推進に向け地域住民との関わりを図っていく。 公園利用者が安全、快適に利用できるよう適正な公園管理を行う。 また、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設修繕や改修を行う。 行政や民間団体だけでは十分な管理ができないことから、地域住民の方々との協働が不可欠であり、街路樹管理への取り組みを地域等へ働きかけを進める。 また、緑化意識のより一層の高揚を図るため、若年層も含め啓発に努めていく。</p>
見直しを行う分野	<p>岡谷湖畔公園の未整備地域の整備内容を湖周サイクリングロードの計画も考慮する中で検討する 街路樹の樹種や設置頻度を含め、維持管理の面からの適正配置を検討する必要がある。</p>

●令和3年度の優先度

* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費			人件費			妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度			
1		内部	あり	都市計画事務	-	-	-	4,131	3,370	-	19,200	19,200	-	継続して実施	A：拡大

●令和3年度の優先度 *方向性が「継続」の事業についてA~Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費			人件費			妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	29年度	29年度	29年度						
							30年度	30年度	30年度						
							元年度	元年度	元年度						
		2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)											
2	内部	なし	なし	公共用地取得等事業	-	-	-	1,001	4,800	-	継続して実施	B：現状維持			
							-	1,071	4,800						
							-								
							-								
3	内部	あり	なし	土地取引規制対策事務	-	-	-	10	400	-	継続して実施	B：現状維持			
							-	10	400						
							-	10	400						
							-	10	400						
4	内部	なし	なし	岡谷駅前整備事業	-	-	-	20	2,400	-	継続して実施	A：拡大			
							-	20	2,400						
							-	13,058	2,400						
							-	22,982	2,400						
5	内部	なし	なし	岡谷駅周辺地区活性化検討事業	-	-	-	50	800	-	継続して実施	B：現状維持			
							-	50	800						
							-	50	800						
							-	50	800						
6	建設	なし	なし	湖畔若宮地区整備事業	地区計画による道路築造工事等の進捗率(変動)	%	100.0	145	6,400	-	継続して実施	B：現状維持			
							100.0	154	1,600						
							-								
7	公共施設	なし	なし	都市公園管理事業	施設稼働率	%	100.0	119,459	8,000	高い	継続して実施	B：現状維持			
							100.0	121,419	8,000						
							102.7	127,887	8,000						
							100.0	135,366	8,000						
8	建設	なし	なし	岡谷湖畔公園整備事業	進捗率	%	30.3	0	1,600	-	継続して実施	A：拡大			
							30.3	0	1,600						
							30.3	0	1,600						
							-	0	1,600						
9	建設	なし	なし	都市公園整備事業	進捗率(平成29年度まで累計)	%	60.6	185,348	-	-	継続して実施	A：拡大			
							67.2	20,390	5,600						
							67.2	0	5,600						
							-	12,782	5,600						
10	内部	あり	なし	緑化推進事業	-	-	-	5,328	3,200	-	継続して実施	B：現状維持			
							-	4,427	3,200						
							-	3,751	3,200						
							-	5,204	3,200						